

国立大学病院臨床研究推進会議
第12回総会シンポジウムプログラム
---社会基盤としての臨床試験体制の強化に向けて---

開催日時:2024年1月31日(水) 13時30分~16時35分<3時間5分>

開催形態:Web Meeting

(以下、敬称略)

開会挨拶

国立大学病院臨床研究推進会議 会長 東京大学医学部附属病院長 田中 栄

第1部テーマ:「マスタープロトコル試験の現状と課題」

座長 : 京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 教授 永井 洋士
: 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 准教授 清水 忍

演題

- 1) マスタープロトコル試験の概念と世界の動向
京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 教授 永井 洋士
- 2) マスタープロトコル試験の現状と課題 -米国の状況-
日本製薬工業協会医薬品評価委員会 データサイエンス部会 部会長
(中外製薬株式会社) 山本 英晴
- 3) マスタープロトコル試験の現状と課題 -欧州の状況-
European Clinical Research Infrastructure Network 上田 恵子
- 4) マスタープロトコルを使用した臨床試験
医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部審査役 小森有希子

第2部テーマ:「わが国が直面するドラッグロス解決の糸口」

座長 : 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 部長 病院教授 水野 正明
: 京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 臨床研究支援部 准教授 加藤 貴雄

演題

- 1) ドラッグロスの現状とその原因
日本製薬工業協会薬事委員会 委員長 (武田薬品工業株式会社) 柏谷 祐司
- 2) 治験中央倫理審査体制構築に向けた好機と障害
大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部臨床研究センター 教授 山本 洋一
- 3) タスクベース・ベンチマーク型治験費用算定導入の必要性 -世界から見た日本-
R&D Head Club (MSD 株式会社) 内藤 聡通
- 4) ドラッグロス解消に向けた ARO の貢献の可能性
名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 部長 病院教授 水野 正明

閉会挨拶

国立大学病院臨床研究推進会議 副会長 京都大学医学部附属病院長 高折 晃史